

【成果報告書1:海洋教育のデザイン】

1. 学 校 名 宮崎県立宮崎海洋高等学校
2. 活動テーマ 「海洋教育から学ぶ海洋・水産高校における未来への種まき」
3. 実践の概要・ねらい

海洋教育の4つのキーワードのひとつ「海に親しむ」の観点を基本軸に、地域の海における実践的な活動をとおして、残り3つのキーワード①「海を知る」②「海を利用する」③「海を守る」の観点へと発展させ、水産や海洋を学ぶことの意義や楽しさを実感させるとともに、広く地球環境を捉え、現在に留まらず未来への認識を深め、未来へ向けて探求する姿勢を身に付けさせることで未来への種まきとする。

4. 実践計画

①テーマ・活動計画・概要・指導上の観点・科目等との関連

(テーマ1) 現状を把握・改善する実践的な活動

活動計画	概要	指導上の観点	科目等との関連
海洋実習	ロープワーク等の基礎的・応用的な海洋技術を身につける。	①「海を知る」 ②「海を利用する」	水産海洋基礎 漁業 など
ダイビング・カヌー実習	ダイビングやカヌーを通じて、地域の海に触れ、海洋環境の現状を把握することで課題解決意識を持たせる。	①「海を知る」 ②「海を利用する」	ダイビング マリンスポーツ 海洋環境 など
地曳網実習	地域と連携し、基礎的な漁業技術を身に付ける。	①「海を知る」 ②「海を利用する」	漁業 海洋生物

(テーマ2) 未来へ向けた実践的な活動

活動計画	概要	指導上の観点	科目等との関連
植樹実習	未来へ向けて植樹をすることで、森を育て、海を豊かにし、自然環境保全に対する意識を向上させる。	①「海を知る」 ③「海を守る」	海洋環境 漁業 水産海洋科学 課題研究 など
ウニ駆除実習	地域の漁協と連携した藻場造成活動を通じて、磯焼けを作った原因を探ると共に、自然環境保全に対する意識を向上させる。	①「海を知る」 ③「海を守る」	漁業 海洋生物 海洋環境 水産海洋科学 課題研究 など

(テーマ3) 探究心を育てる実践的な活動

活動計画	概要	指導上の観点	科目等との関連
講話	海を中心とした自然環境の	①「海を知る」	海洋環境

	現状を知ると共に、未来へ向けて何をすべきか探求する姿勢を身に付ける。	③「海を守る」	漁業 水産海洋科学 課題研究 など
海洋教育サミットへの参加	海洋教育サミットに生徒が参加し、海洋教育への視野を広げ未来を探る。	①「海を知る」 ②「海を利用する」 ③「海を守る」	全ての科目

②実践の評価について

海洋教育の4つのキーワードを軸に、活動テーマを「現状を把握・改善する実践的な活動」、「未来へ向けた実践的な活動」、「探究心を育てる実践的な活動」の3つに分類し、指導上の観点や関連する科目等を吟味した上で、時季的な側面を考慮し活動計画を立てた。実施に際して、外部機関との調整に苦慮したが、協力態勢が確保されたことで本計画の実践に至った。

5. 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

概ね計画通りに実施できた。しかし、(一)地曳網体験においては実施日が雨天のため延期を余儀なくされた。(二)予算面において植樹体験で使用する予定であった貸切バスが連携した外部機関の手配により支出不要になった為、予算執行に変更が生じた。

②実践の成果

海洋教育のキーワード「海に親しむ」を基本軸として、地域と連携しながら地域の海における実践的な活動を実施した。その学習効果として、①「海を知る」では、海の基本的な技術を身に付け、現状を把握し、未来への認識が深まった。②「海を利用する」では、海は学びの場であること、漁業などの生産の場であること、憩いや楽しむためのレジャーの場であることを認識し、海は私達にとって身近な存在であることに気づいた。③「海を守る」では、私達の手によって海を守っていくことは、広く地球環境を捉え、自然環境保全に対する意識を高めるとともに、今、私達がすべきことは何かと探求する姿勢を育ててくれた。

③次年度への課題

海洋教育を実施するに当たり外部の関係機関が新規に得られたことは、今後の活動の継続に期待が持たれる。また、新たに体験場所が見出されたことは大きな成果であったが、その海域が遠方のため移動手段として貸切バス等の費用が必要であり、予算を調達しなければならない。

6. 主な連携機関及び内容

連 携 機 関	内 容
宮崎グリーンヘルパーの会（宮崎市）	植樹実習
庵川漁業協同組合（門川町）	ウニ駆除実習
みやざき公園協会、地域の保育園（宮崎市）	地曳網実習

日本財団 東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター 笹川平和財団	第5回全国海洋教育サミット
宮崎大学（宮崎市）	海洋教育報告会

「海洋教育から学ぶ海洋・水産高校における未来への種まき」

【実践のねらい】

海洋教育の4つのキーワードのひとつ「海に親しむ」の観点を基本軸に、地域の海における実践的な活動をとおして、残り3つのキーワード①「海を知る」②「海を利用する」③「海を守る」の観点へと発展させ、地域の海を利用した実体験を通じ、水産や海洋を学ぶことの意義や楽しさを実感させる。また、現在に留まらず未来への認識を深め、地球環境を広く捉えた未来へ向けて探求する姿勢を身に付けさせる。

○関連科目 漁業、海洋環境、海洋生物、水産海洋基礎、水産海洋科学、ダイビング、マリンスポーツ、その他

○主な連携機関と内容 宮崎グリーンヘルパーの会：植樹実習

庵川漁業協同組合：ウニ駆除実習

みやざき公園協会、地域の保育園：地曳網実習 など

○目標 (1)現状を把握・改善する活動 ～ 海洋実習、ダイビング・カヌー実習、地曳網実習 など

(2)未来へ向けた活動 ～ 植樹実習、ウニ駆除実習 など

(3)探求心を育てる活動 ～ 講話、海洋教育サミット など



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎的な活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(3) 探求心を育てる活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) 現状を把握・改善する活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>海洋実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なロープワーク技術を身に付ける ②応用的なロープワーク技術を身に付ける ③ロープワークの歴史について調べる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>植樹実習・講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ①海洋環境について調査する ②森林環境について調査する ③講話を通じて、森と海の繋がりを理解する ④連携する外部機関との交流 ⑤ロキシーヒルにおける植樹の実践 ⑥自然保護活動の実践〔海岸清掃など〕 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ダイビング・カヌー実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基礎的なダイビング技術について学ぶ〔プール実習〕 ②基礎的なカヌー技術について学ぶ〔プール実習〕 ③海の安全について学ぶ ④地域の海にふれる ⑤ダイビングの実践〔海洋実習〕 ⑥カヌーの実践〔海洋実習〕 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ウニ駆除実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①海洋環境について調査する〔磯焼けの原因〕 ②海洋生物について調査する〔ウニの生態〕 ③基礎的なダイビング技術について学ぶ〔プール実習〕 ④ウニ駆除の実践〔海洋実習〕 ⑤自然保護活動の実践〔海岸清掃など〕 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地曳網実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漁業について学ぶ〔地曳網〕 ②漁業規則について調べる ③地域とふれあう ④地曳網の実践〔海洋実習〕 ⑤漁獲した生物について調べる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>海洋教育サミット参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全国の海洋教育における実践活動について知る ②パネルディスカッション等を通じて海洋教育への視野を広げ探求心を育てる </div> </div> </div>											
実践的な活動												
探求的な活動												
	<p>(2) 未来へ向けた活動</p>											